



学校だより

10月号

令和元年10月1日
横浜市立善部小学校
校長 小澤 紀子

行動しよう！

学校長 小澤 紀子

衝撃的な光景でした。テレビの画面から眼光鋭くこちらをじっと見つめているのは、どう見ても少女と言える女性でした。そして鋭いまなざしのまま、「私たちはあなた方を見ている。決して許さない」とスピーチしたのです。ご覧になった方も多いと思います。国連の「気候行動サミット」の一場面です。各国の代表である大人を前に、堂々と自分の意見を言える彼女の芯の強さ、そして、ここに至るまでの行動力に本当に驚かされました。

「十分な議論の上の行動。美しいスピーチではなく、具体的な行動が必要」とは、国連事務総長の言葉。「あなたたちは立派なことを言ってるだけで、ちっとも行動しない」そんな風に、私も言われているようで、ドキドキしてしまいました。行動しない理由はと考えると…。「一人でやってちっぽけで、地球なんて救えない。」「誰かがやってくれるから、自分がやらなくたって。」そんなところでしょうか？

ここ数年の異常気象・自然災害は、想定外、未曾有、観察史上初、といった言葉がついて回りました。昨年は6月に梅雨があけたのに対して、今年は夏休みになってもまだぐずついていた。猛暑のために体育や水泳学習、夏休み学習教室までも中止になったり、一度雨が降り出すと豪雨になってしまったり、先日は台風直撃で休校になりましたが、ここ数年にはないほどの暴風雨だったように感じました。地球温暖化による異常気象・自然災害は実際に感じられるほどになっているのです。では、具体的に行動。とはどうすればいいのでしょうか？

横浜市には温暖化対策統括本部があります。そこから依頼のあった「横浜カーボンオフセットプロジェクト」に3年生以上が参加いたします。(カーボンオフセット：温室効果ガス排出量の削減努力を実施した上で、どうしても排出されてしまう温室効果ガスについて、別の場所での削減活動を行って埋め合わせること)「ラグビーワールドカップ2019 東京2020 オリンピック・パラリンピックにエコで参加しよう！」のテーマのもと、自分たちで目標を設定し、自分たちができることによって省エネに取り組みます。使っていない場所の明かりは消そう。テレビを見ていない時は消そう。といった日常でもうすでに行っていることです。改めて意識して取り組むことで、さらに節水・節電など身近なことに取り組む意欲を高めることがねらいです。後日、3年生以上に用紙を配付します。各ご家庭で話し合っ取り組んでください。また、1・2年生、地域の方もぜひ一緒に。

先ほどのやらない理由。「誰か」でなく「自分」が、そして「一人」でなく「皆で」取り組めば大きな力になることを体験してほしいと思っています。小さなことの積み重ねが地球を救うことになるかもしれません。「口ばかりで、何もやらない」などと言われないように、子どもたちと一緒にできることから実行していきます。具体的な行動の一つです。

まもなく、前期が終了いたします。行事や日々の学習・生活など、様々な場面でのご支援、ありがとうございました。まとめ、振り返り、そして後期のめあてにつなげていきます。黄色いベストさんには、暑い日も雨の日も登下校を見守っていただき、本当にありがとうございました。後期も変わらぬご理解、ご協力をお願いいたします。

先日行われた音楽のつどい・横浜隼人中高等学校の芸術鑑賞会。5年生、南希中吹奏楽部、隼人高校のすばらしい演奏・演技でした。そして、9月27日に5年生が行ったふれあいコンサート。うっとりするほどすばらしい「芸術の秋」を満喫しています。と同時に「スポーツの秋」です。